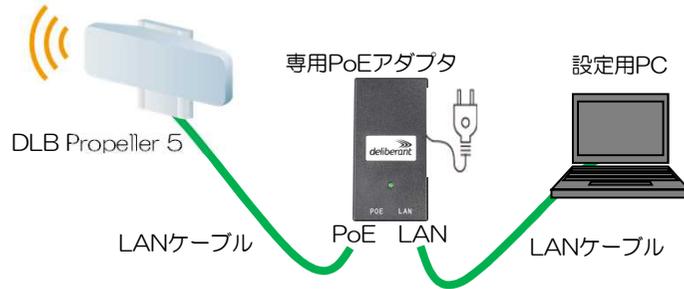


①機器接続



※専用PoEアダプタにリピータ機能はありませんので、ネットワーク機器-Propeller間のLANケーブル長は最大100mとなります。

③映像伝送等UDPプロトコルを利用する際の追加推奨設定

APとStationで タブ内の タブで以下の設定後、右上のSave changesを押します。

**AP設定** IEEE mode: 802.11n ← 802.11nを選択 Channel: Auto / 20 MHz ← 20MHzを選択

**Station設定** Channel width, MHz: 20 ← 20MHzを選択

**Advanced radio settings** をクリックして、

Autorate mode: Alternative (PER based) ← Alternativeを選択

Radio mode: MIMO 2x2

Max 802.11n MCS index: MCS8 (13 Mbps) ← ビットレートのピーク値の1.3倍以上の最小値

BA window size, frames: 8 ← 8に設定

Fragmentation:

RTS/CTS:

WMM:

AMSDU:

Short GI: ← チェックを外す

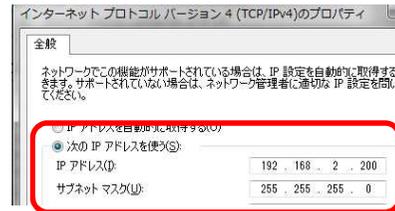
②基本設定

一方をStation(子局)として設定することにより1対1ブリッジ接続ができます。初期値はAP(親局)です。

出荷時の初期設定は次のようになっています。

動作モード	アクセスポイント(AP)
SSID	LigoDLB
暗号化	なし
チャンネル	36, 40, 44, 48
IPアドレス	192.168.2.66 (Static)

パソコンをアクセスポイントのサブネットにセットしてください。  
(例) 192.168.2.200



WEBブラウザを開いてIPアドレスを指定してください。  
初期設定 (192.168.2.66/24)



初期パスワードを入力し、Loginボタンを押してください。  
初期ID、パスワード  
Username : admin  
Password : admin01



タブ内の タブで Operating mode から Stationを選択してください。



Station (WDS,iPoll 2/iPoll 3)を選択

タブ内の タブの IPv4 configuration で IP addressに 192.168.2.67と入力した後、Save changesを押して下さい。

**DHCP IP fallback**

IP address: 192.168.2.66

Subnet mask: 255.255.255.0

Default gateway: 192.168.2.1

数分後リンクLEDが点灯し、ブリッジ接続が完了します。

